

# 林業ニ二情報 No.171

令和6年3月

- 1 多賀林業振興会と常陸太田林業振興会が合同講習会を開催 . . . . . 1  
(常陸太田林業指導所 松浦)
- 2 大子町有林で植樹祭が開催される . . . . . 2  
(大子林業指導所 山本)
- 3 JA なめがたしおさい玉造椎茸部会 森喜作賞記念入札会  
団体賞の受賞及び乾椎茸箱物品評会 団体優勝 . . . . . 4  
(鉾田林業指導所 綿引)
- 4 「第46全国育樹祭100日前イベント」について . . . . . 6  
(鉾田林業指導所 綿引)
- 5 菌床きのこにおける生産資材高騰の影響調査について . . . . . 7  
(鉾田林業指導所 綿引)
- 6 荒廃した竹林の再生に着手 . . . . . 9  
(土浦林業指導所 高信)
- 7 スマート林業推進に向けたGNSS技術を活用した測定の  
試行について . . . . . 11  
(筑西林業指導所 高橋)

|       |   |
|-------|---|
| タイトル  | 多賀林業振興会と常陸太田林業振興会が合同講習会を開催  |
| 年月日   | 令和5年9月21日（木）  |
| 場所    | 常陸太田市里川町（現地）  |
| 内容    | <p>去る令和5年9月21日に、当指導所管内の多賀林業振興会と常陸太田林業振興会による合同講習会が2年ぶりに開催されました。</p> <p>講習会には、両振興会の会員及び管内森林組合職員等52名が参加し、令和4年度全国林業経営推奨行事で農林水産大臣賞を受賞した荷見信孝氏の所有山林（常陸太田市里川町）において、持続可能な林業経営の視察と茨城県森林組合連合会による電動クローラ型一輪運搬車の紹介と実演が行われました。</p> <p>当日は、荷見氏の先代が約40年前から試験的に取り組んできた複層林施業地のほか、カラマツ混交林施業地や主伐後の再造林施業地を視察し、荷見氏から経営や施業の内容について説明を受けながら意見交換を行いました。また、造林作業における苗木運搬等の省力化や作業効率の向上を図るために開発された電動クローラ型一輪運搬車について、茨城県森林組合連合会から実演を兼ねた紹介があり、参加者は実際に操作し、作業時間や労力の削減効果を体感していました。</p> <p>当指導所では、自立した林業経営を目指す林業経営体の育成・支援を行う一方で、荷見氏のような地域の模範となる林業経営や施業技術を絶やさぬよう、普及に努めていく必要があると考えています。</p> |
|       | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>カラマツ混交林の視察</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>電動クローラ型一輪運搬車の操作体験</p> </div> </div>  |
| 普及成果等 | <p>荷見氏は、地域でも数少ない独自の経営戦略が確立された専業の篤林家であり、今回、荷見氏の優良な林業経営の一端を視察したことで、参加者にとって新たな知見を得ることができたとともに、経営意欲に弾みがついたものと考えています。</p>  |

|      |   |
|------|---|
| タイトル | 大子町有林で植樹祭が開催される   |
| 年月日  | 令和5年5月2日（火）   |
| 場所   | 大子町下金沢 瀧ノ沢町有林   |
| 内容   | <p>去る令和5年5月2日、大子町下金沢の町有林で大子町と大子林業改良普及協会の共催による植樹祭が開催され、大子清流高等学校農林科学科の生徒や地域の林業関係者など総勢92名が参加しました。</p> <p>当イベントでは、今年度茨城県で開催される全国育樹祭の記念イベントとして、森林資源と林業担い手の未来に向け「次世代につなぐ森林づくり」をテーマに掲げ、町有林内約0.8haにスギ特定苗木、コウヨウザン、少花粉ヒノキなど1,600本の苗木を植樹しました。</p> <p>植樹活動に先立って、大子町長や大子町森林組合長などによる記念植樹が、また、参加者全員の記念撮影が行われました。その後参加者は、林業施業コストの8割を占める再生林や下刈りのコスト縮減が期待されている、初期成長の速さが特徴のエリートツリーや、ぼう芽更新するコウヨウザンのコンテナ苗を植栽しました。</p> <p>また、今回の植樹祭のもう一つの目的である、林業の先進的な取組を次代の担い手に伝えることとして、リモートセンシング技術を活用した植栽地の周囲測量と、ドローンによる苗木運搬のデモンストレーション、ドローンと人力による苗木運搬の工程比較が行われました。</p> <p>工程比較では、参加者はドローンを用いた苗木運搬の速さに大変驚いている様子でした。大子清流高等学校農林科学科の生徒からは、ドローンや林業機械について熱心な質疑が交わされ、先進的な林業への関心の高さが感じられました。</p> |
|      | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>参加者の集合写真</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>植栽されたスギ特定苗木</p> </div> </div>  |



ディブルでのコンテナ苗植栽



苗木のドローン運搬と人力運搬のタイム計測

**普及成果**

林業関係者と将来の林業担い手となる大子清流高等学校農林科学科の生徒たちが、ともに作業に取り組んだりし、先進的な林業に触れたことで、世代を超えた林業担い手の交流の場となりました。

当指導所では、今後とも林業活性化に向けた取組を積極的に支援して参ります。

## R5. 林業ミニ情報（令和6年3月）

（鉾田林業指導所 綿引 孝）

|      |  |
|------|--|
| タイトル | JA なめがたしおさい玉造椎茸部会 森喜作賞記念入札会 団体賞の受賞及び乾椎茸箱物品評会 団体優勝  |
| 年月日  | 令和5年8月2日（水）  |
| 場所   | ホテルグランドヒル市ヶ谷（東京都新宿区市谷本町4-1）  |
| 内容   | <p>去る、令和5年6月に日本椎茸農業協同組合連合会主催により開催された第11回森喜作賞記念入札会及び第51回乾椎茸箱物品評会において、JA なめがたしおさい玉造椎茸部会がそれぞれ団体賞及び団体優勝となり、8月2日（水）東京都のホテルグランドヒル市ヶ谷において表彰式が行われました。</p> <p>玉造椎茸部会のある行方市は、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質の影響により、市内の原木シイタケ（露地）が国からの出荷制限指示を受けている地域となります。</p> <p>当指導所では、生産再開に意欲のある部会員に対し、出荷制限解除に必要な放射性物質対策等の栽培管理について指導を重ねた結果、平成29年度には部会員6名が解除を達成、以降、継続して適正な栽培管理に取り組み、現在も生産を行っております。</p> <p>部会員は、元々は県内産の原木を自伐し、生産を行ってききましたが、放射性物質に汚染され、使用が困難となったことから、使用する原木を他県からの購入に切り替え、栽培を再開したところです。</p> <p>購入する原木は、伐採時期、箇所が必ずしも一致しておらず、原木の乾燥状態が異なることから、それぞれの原木に合わせた栽培管理を行っている状況です。</p> <p>これらの取組の結果、事故当時に比べ生産規模は縮小したものの、しいたけの栽培技術及び乾しいたけの加工技術は今もなお優れており、今回の受賞にいたりました。</p>  |

|             |   |
|-------------|---|
| <b>普及成果</b> | 当林業指導所としても、原木しいたけの栽培技術、乾しいたけの加工技術を絶やさないために、引続きチェックシートによる原木しいたけ栽培の安全管理指導を行うとともに、管内の原木林の放射性物質調査を進め、地元産原木の安全性の確保及び生産量の安定を図るために指導を進めてまいります。 |
|-------------|---|

|      |   |
|------|---|
| タイトル | 「第46全国育樹祭100日前イベント」について   |
| 年月日  | 令和5年8月19日（土）  |
| 場所   | 茨城県水郷県民の森 ビジターセンター（潮来市）   |
| 内容   | <p>去る、令和5年8月19日に水郷県民の森において、「第46回全国育樹祭100日前イベント」が潮来市主催で開催されました。</p> <p>このイベントは、11月11日、12日開催の全国育樹祭のうち、11日のお手入れ行事の会場（茨城県水郷県民の森）のある潮来市が、育樹祭を成功に導くため、地元の機運醸成を図ることを目的として開催したものです。</p> <p>当日は午前と午後の二部構成で、第一部では市内の中学校による吹奏楽の演奏や、茨城県で活躍する女性たち「茨女」による森のコンサート、第二部では茨城県庭園樹協会（鹿行支部）による、市内の小中学生を対象としたコケ玉作り体験が行われました。県内林業指導所職員がメンバーとなり活動しているチーム教育では、森林・林業体験学習（お箸づくり、チェーンソーVRシミュレータ体験）を行いました。</p> <p>イベント参加者は、カンナを使用したお箸づくりでは、材料のヒノキを削ったあとの香りや、削る感触を体感し、チェーンソーのVRシミュレータ体験では、チェーンソーを使って安全に作業するための伐木手順等を学ぶなど、一つ一つ確かめながら体験を行っていました。</p> <p>活動後、参加者からは「木のお箸は良い香りがする」「チェーンソーを使って実際に木を伐ってみたい」などの感想もありました。</p> |
| 普及成果 | <p>当林業指導所としても、全国育樹祭開催を契機に、森林・林業体験学習を通して、森林・林業や県産材の利活用への関心が高まるよう、普及・啓発に取り組んで参ります。</p>  |



|      |  |
|------|--|
| タイトル | 菌床きのこにおける生産資材高騰の影響調査について   |
| 年月日  | 令和5年2月から8月   |
| 場所   | 鹿行管内 菌床きのこ生産者  |
| 内容   | <p>鹿行地域は県内でも有数の菌床きのこの生産が盛んな地域です。そのような地域性を踏まえて、昨今の物価高騰の影響が、どれだけ経営を逼迫しているのか、各生産者から、生産資材の使用量及び生産方法、生産状況等の把握、取りまとめを行いました。</p> <p>調査を進めた結果、いずれの生産者も生産資材の国産化には既に取り組んでおり、円安や外的要因の影響を受けにくい体制づくりを進めていること、同じ菌床きのこ（ぶなしめじ）でも、生産者毎に菌床培地の資材の配合割合が異なるなど、工夫を重ね、独自の生産方法を確立し、経営を続けていることが分かりました。</p> <p>一方、生産量の把握は、法人の生産者については日々の生産量、出荷量等も帳簿でしっかりと整理されているものの、個人の生産者については、売上金額の管理が主となっているため、植菌量に対して概算で生産量を算出している状態でした。</p> <p>今回の調査結果（生産資材費の高騰による上昇額：約 12～20 円/kg）を生産者へ情報提供したところ、「生産費用を把握することができた。」「資材費が高騰していることは分かっていたが、生産量に対してこんなに増えていたとは驚いた。」などの意見がありました。</p> |
|      | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(ぶなしめじ)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(しいたけ)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>(きくらげ)</p> </div>                      |

|              |  |
|--------------|--|
| <b>普及成果等</b> | <p>調査結果を生産者に提供したことにより、今まで十分ではなかった生産資材の上昇額や生産量の把握をするだけでなく、物価高騰の影響がどれだけ経営を逼迫しているのかを整理することができました。</p> <p>生産量を「見える化」することなどにより、生産者が無理のない生産体制を構築し、更なる物価高騰があった際に適切な対応が取れるよう、当林業指導所としても引続き支援を行ってまいります。</p> |
|--------------|--|

|      |   |
|------|---|
| タイトル | 荒廃した竹林の再生に着手  |
| 年月日  | 令和5年9月23日（土）、12月2日（土）   |
| 場所   | 阿見町君島地内   |
| 内容   | <p>近年、森林整備が行われず荒廃した森林や竹林が多くなっています。そのような中、阿見町では、竹林を健全な姿にするとともに、その資源を活用し地域の活性化に繋げる「君島竹林再生プロジェクト」を令和4年度から実施しています。</p> <p>今年度は2回の活動を行い、昨年度と併せ0.46haの竹林を整備しました。主な活動内容は、荒廃竹林の間伐や下刈り等で、地域住民や県外ボランティアの方々のほか、東京農業大学の先生や学生も参加し、のこぎりを使い、枯れた竹を伐採・搬出し、チップパーで粉碎し竹林に敷きながら作業を行いました。</p> <p>当指導所では、竹林の整備方法について指導するとともに、大学生や地元の子供たちに対して、森林の働きや森林整備の必要性、また、資源の活用・循環について講話を行いました。特に大学生には森林・林業に関心を抱いてもらえるよう、林業の魅力や就業について積極的に話をするようにしました。</p> <p>また、作業の後には参加者全員を対象にお箸づくり体験を実施し、木のぬくもりや香りを体験してもらいました。</p> <p>今後は、伐採した竹林の利用方法について参加者と検討し、地域一体となり荒廃竹林の再生を図ってまいります。</p> |
|      | <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>間伐作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>搬出状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>チップパーで粉碎</p> </div> </div>                     |
| 普及成果 | 竹林整備を通して森林環境の改善、資源の有効活用、地域の活性化に繋げることができました。プロジェクトの継続した活動のために引き続き支援を行ってまいります。  |

|      |  |
|------|--|
| タイトル | スマート林業推進に向けた GNSS 技術を活用した測定の試行について   |
| 年月日  | 令和5年8月18日（金）   |
| 場所   | 桜川市犬田地内  |
| 内容   | <p>GNSS(Global Navigation Satellite System)とは、GPS等の人工衛星からの信号を受信し、現在地などを記録するシステムです。昨今GNSSは森林・林業分野においても、様々な業務・研究に活用されており、効率的な業務等に資すると期待されており、林業事業者の作業負担の軽減等を目的に県内の多くの林業事業者でも使用されています。</p> <p>そうした中、当指導所管内において初めての試みとして、笠間広域森林組合と連携し、森林GNSS受信機 geode と測量アプリ ARUQ を用いた測量を造林事業施行地(下刈り 0.11ha)で行ったので紹介します。</p> <p>測量はGNSS受信機 geode を測点に設置後、Bluetooth で測量アプリ ARUQ と接続し、座標を計測しました。また、GNSSを用いて計測を行う際は茨城県森林整備関係事業竣工検査要領に準じ、「観測時の衛星補足数は7以上」、「1測点の計測につき、観測回数を10回以上」等の条件の下で計測を行いました。</p> <p>今回は、これまで電子コンパス測量で行ってきた面積の確定をGNSS測量で行った結果、造林事業の要件を満たす精度とすることが出来ました。また、今回の施行地(0.11ha)では1人で40～50分程度で測量できたことから、電子コンパスに比べて短時間での計測が可能で効率的であることが確認できました。</p> <p>一方で、衛星が時間とともに移動し続ける関係から、多少の精度差が表れるなど、再計測が必要となる場合もみられました。</p> <p>今後は今年度中に別事業地でGNSS測量を行うと共に、ドローンを用いたオルソ画像による面積計測についても実施し、電子コンパスによる測量結果との比較検討を行うなど、スマート林業技術を積極的に導入する取組みを推進していきます。</p> |

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  <p data-bbox="485 607 759 645">GNSS 受信機(geode)</p> |  <p data-bbox="946 607 1246 645">専用測量アプリ(ARUQ)</p> |
| <p data-bbox="204 763 336 801"><b>普及成果</b></p> | <p data-bbox="408 752 1441 887">今後も、現場ごとの特性を鑑みながら、積極的に GNSS 測量などのスマート林業を導入し、人的負担の軽減や作業の効率化を推進していきます。</p>                             |  |